

「マルチステークホルダー方針」

当社は、「お客様の満足の大きさが我々の存在価値の大きさであり、ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る」という基本理念のもと、優れた「人」と世界最先端の「技術」を融合させた「people&technology」で、付加価値の高いサービスを提供することにより、お客様企業のビジネスプロセスの最適化と CX 向上を目指します。また、国内市場にとどまらず、グローバル市場においても最高のサービスを提供する唯一無二の「Global Digital Transformation Partner」としてお客様企業の発展に貢献していきます。

このような活動を通じ企業価値を高めると共に、株主、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとするすべてのステークホルダーとの信頼関係を構築し、社会の進歩に貢献することを目指し、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、お客様企業が望むサービスを提供するために、きめ細かな対応ができる専門性の高い「プロフェッショナル人材」の育成が働く人にも会社にも大切であるとの認識のもと、人材育成・人材力の強化に向けた取り組みを行っています。社員は無限の可能性を秘めた最大の資産であり、個人の成長に必要な教育支援を惜しまず、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組む、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員満足度向上やエンゲージメント強化、更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、実績と能力によって適正な報酬を提供すると共に、多種多様な業務に従事する社員一人ひとりが高度な専門技術を習得し、能力を最大限に発揮できる仕組みづくりを推進していきます。また、人権の尊重、ダイバーシティおよびワークライフバランスの推進、さまざまな人材育成プログラムなどを通じて、働く人々が感性・創造性を十分に発揮できるよう人材投資に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2022年12月14日】
- ・ パートナーシップ構築宣言の URL
【 <https://www.biz-partnership.jp/declaration/26838-19-00-tokyo.pdf> 】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は大規模なオペレーションセンターを全国で展開しており、雇用創出をはじめ事業を通じて地域社会の活性化に貢献しています。

また、サステナビリティ基本方針の考え方にに基づき、気候変動対応をはじめとする環境経営を推進しており、2023年3月1日にTCFD提言に準拠した気候変動に関する情報開示を行いました。

トランスコスモスは、事業を通じてステークホルダーのみなさまと共創しながら、サステナブルな社会の実現によりいっそう貢献し、お客様企業にとってのWell-beingパートナーとなるべく成長していきます。

- ・ 社会貢献活動の URL

【 <https://www.trans-cosmos.co.jp/company/sustainability/community/community.html> 】

- ・ TCFD 提言に準拠した気候変動に関する情報開示の URL

【 <https://www.trans-cosmos.co.jp/company/sustainability/environment/climateChange.html> 】

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和5年4月14日

トランスコスモス株式会社

法人名

代表取締役共同社長 牟田 正明

代表取締役共同社長 神谷 健志

役職・氏名（代表権を有する者）